

○「敬老会で帰郷者と意見交換」

(京都府宮津市 世屋地区連絡会議)(令和元年度第4回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

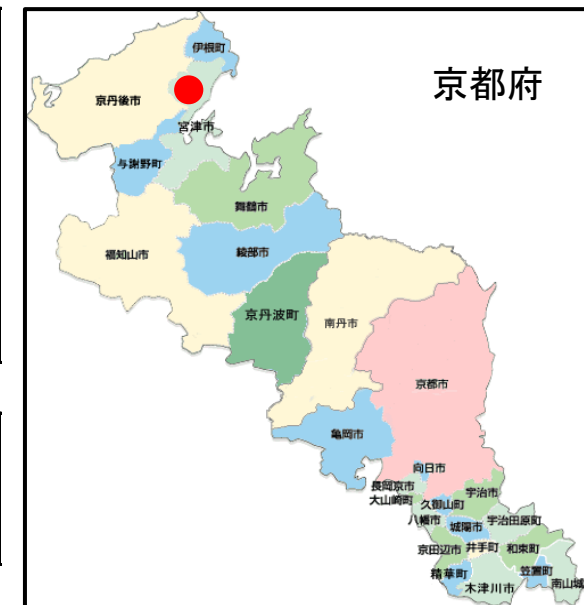
- 日時(時期): 令和元年9月29日(日) 10:00～15:30
- 場 所: 宮津市畑集会所
- 出席者: 畑地区他 20人、市1人
農業委員1人、推進委員2人
事務局1人 委員3人、他22人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 世屋地区 移住者や中核的農家が、耕作放棄地再生や農地集積の取り組みなどを行うことにより、
条件不利地でも積極的な取り組みとなっている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 畑地区敬老会に地元出身者が多く帰郷されることから、同会と地区連絡会議を連携開催(委員発案)
地元: 自治会長(兼業農家)や大阪からUターンして水稻栽培をする夫婦、90歳代単身で野菜づくり3人、
退職Uターンで野菜づくり(以上地元)
- 地区外: 尼崎在住(休みに帰郷して野菜づくり)、宮津市内在住(野菜づくり通作)、
与謝野町在住(野菜作り通作)、京都市在住(2拠点居住で畑作)、神戸市在住(水稻25a)
- ・地区外の方の栽培には地元在住の方が機械を貸与するなど、地域の農地を一緒に守るため協力
- ・参加者全員、畑地区の素晴らしさを誇りに話されていました
- ・今後、引き続き畑地区の将来の話し合いを継続することでまとめられた



4 活動結果

- 情報・意見交換 **5.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援